

BOAT TIMES

桑野造船株式会社

〒520-0357 大津市山百合の丘 10-1 TEL:077-598-8090 FAX:077-598-2505

URL : <http://www.k-boat.co.jp> E-mail : kuwano@k-boat.co.jp



●シーズン開幕

【小澤】

乗艇シーズンが本格的に始まりますね。私は日本ボート協会の安全環境委員会のお手伝いもさせていただいている関係で、海外の事故も時々検索し情報を集めています。その中で、昨年秋にニュージーランドで発生したもので、コーチ艇（モーターボート）がエイトに衝突、2名重傷！というのがありました。超ベテランコーチでしたが、モーターボートの安全装置、キルコードを適切に装着していなかったことが被害拡大の主因でした。常に気を引き締めて基本を守り、安全なローイング、安全なカヌーイングを展開していきましょう。今回は、少しスペースをいただき、春の事故リスクについて、少しお話を続けさせていただきます（以下）

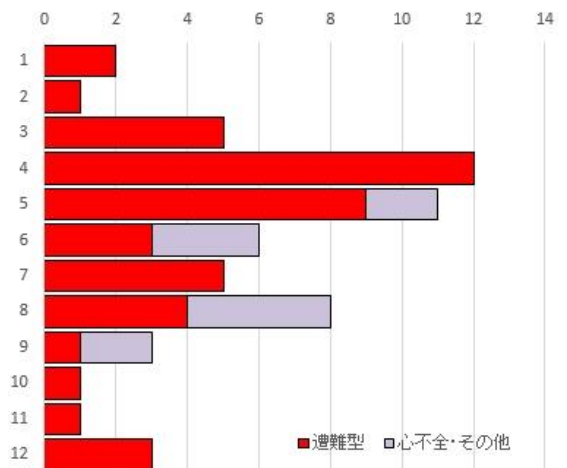
●春には危険がいっぱい！？

【小澤】

水の温みに春を知る♪季節になってきました。待ちかねたシーズンが始まり、また新しくボートに出合う人もいることでしょう…心躍るシーズンですね。もちろんコーチもクルーも事故がないよう、日々気をつけられていると思いますが、ここで、過去の事故から学ぶところはないか、振り返っておきましょう。下のグラフは、日本の漕艇死亡事故（最新資料では58件・114名）の月別発生件数です（縦軸=月、横軸=発生件数）。

この13年間、遭難型の死亡事故は起きていませんが、4件の心臓突然死が発生しています。事故のタイプ、地域特性は様々ですが、遭難型の死亡事故の実に半数以上が3～5月に集中しているのです。春の遭難事故リスクの高さには、多くの要因が絡んでいます。待ちに待ったシーズン、レースを控えどうしても漕ぎたい、試乗会、慣れない新人の乗艇等々。過去の事故では、何度も同じようなパターンが繰り返されます。事故を防ぐにはどうしたら良いのでしょうか？すぐに頭に浮かぶのは「沈したら艇から離れるな！」という鉄則でしょう。しかし「それ（だけ）ではダメだ」ということを、日本ボート協会のセーフティアドバイザー講習会や公認指導者の養成講習・義務研修ではしつこく話しています。クルーの命を守るには、安全についても学び続ける必要があります。これまで大丈夫だったから、というのは何の助けにもなりません。「あの時、安全のことに耳を傾けていれば…」という後悔はしたくありませんね。公認指導者、都道府県に配置されているセーフティアドバイザーと関係をとっていただき、ぜひクルーの安全を守り、またクルーに生涯役立つ安全力を培ってください。

日本の漕艇死亡事故の月別発生件数(1903-2014)



●エルゴモニター ファームウェアの更新

エルゴのモニターにはファームウェアと呼ばれるコンピュータープログラムが予め組み込まれています。このファームウェアは Concept2 Utility というフリーソフトを使用することにより、最新版へバージョンアップさせることができます。

<http://www.concept2.com/service/software/concept2-utility>

モニターをUSBケーブル（PM5モニターでは付属のUSBでも可）を使用してお持ちのパソコンと繋ぐことによってバージョンアップすることができます。モニターの機能自体に違いはありませんが、最新版へ更新することによって、モニターに現れていた不具合が解消されることもあります。こまめに最新版へ更新されることをお勧めします。

●お知らせ

* 中日本レガッタに出店します

4/17（金）～19（日）に愛知池漕艇場で開催されます、中日本レガッタにて展示ブースを設置します。

当日はパーツの受け渡し等もさせていただきますので、オールなど普段は送料が高くなってしまふものを是非この機会にお買い求めください。なお、オールなど商品によっては事前にご注文いただかないとお受け渡しできないものもありますので、お気を付けください。

BOAT TIMES の配信停止を希望される方は、お手数ですが FAX (077-598-2505) または E-mail (kuwano@k-boat.co.jp) で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。次号は 4/20 発行予定です。